




審査結果報告書

2021 年 1 月 25 日

主 査 氏 名 松 永 篤 彦 

副 査 氏 名 稲 岡 秀 稔 

副 査 氏 名 高 橋 香 心 子 

副 査 氏 名 上 出 直 人 

1. 申請者氏名 : DM17030 松岡 耕史

2. 論文テーマ :
脳卒中患者の麻痺側上肢を用いた生活動作における項目難易度の検討

3. 論文審査結果 :

本研究は、脳卒中患者における麻痺側上肢で行う生活動作を評価する尺度として「Activities Specific Upper-extremity Hemiparesis Scale (ASUHS)」を新たに開発したうえでその妥当性と信頼性を検討し（第一研究）、さらにこの開発したASUHS を実際に用いて食事動作の遂行度と予測因子を検討して有用性を明らかにしたものである（第二研究）。

特に、脳卒中患者の上肢機能を用いた生活動作全般の遂行過程を評価する既存の尺度（評価指標）がない中で、独自に評価尺度を開発するとともに、その信頼性と妥当性を詳細に検討した点は新規性の高い研究となっている。また、作業療法という専門性を取り入れ、生活動作の行程から難易度を示した点も、臨床上、有用な指標となり得ると思われた。

さらに、実際の臨床現場で活用可能かどうかを食事動作について検証した点も、診断や治療方針に役立つ閾値（カットオフポイント）が示され、リハビリテーション医療において、訓練（練習）課題や目標値を具体的に示した点も、今後のさらなる研究に繋がるレベルの高い内容になっていると思われた。

本学位審査における発表においても、適確なプレゼンテーションが行われ、主査、副査の審査員からの質問にも適確な考えが示されていた。

上述のように、本研究の成果は脳卒中患者の上肢機能と日常生活動作獲得に向けた極めて有用な基礎研究であり、医学博士号にふさわしい学術活動を継続することが期待できると考えられた。

以上のことから、本研究論文は、博士号の学位に値すると判断された。